発行所　加治木町役場
発行人　曽木隆輝
編集者　中元邦夫
印刷所　吉屋印刷

年頭の御挨拶

町長　曽木隆輝

皆さん、明けましてお目出とう御座います

去る十二月の選挙で、皆さんから推され町政を担当する事となりましたが、お礼まわりも挨拶状を出すことも禁ぜられていますので、各方面に失礼しています事を先づお許しして下さい。

年頭に当り、私は前任者緒方前町長の努力と苦心に対し、先づ衷心から敬意を払うものであります。私は先駆者の足跡を見つめ乍ら更に町民の皆様のため、郷土の発展のために、全力を尽して邁進しますとお誓いして置きたいと思います。

新年度の予算をつくる時期に、はいりますが、出来る限り積極的に物事を考えて参りたいと思います。しかし財源にも限りのある事ですから、一足跳びの軽業は困難ですが、成るべく各方面の御意向を参酌の上信ずる道に猛進したいと思います。猪の年でもありますので。

かつての英国の有名な労仂宰相ラムジー・マグドナルドの伝記を読んでいますと、彼が市井の靴みがきから起ち上つて、大英国の首相となるまで、いやその後も絶えず抱き、常に説いていたことは、〃漸進の不可避〃ということ即ち「一歩づつでよいから理想へ向つて」との強い信念の持主であつたと書いてあるのに深い感銘を覚えたのです。勿論私に彼程の腕も力も無いことは判り切つていますし彼程、人を動かす丈けの才もないのですが、私もこの郷土……それは私たちが生れ、育ち、仂き、そしてやがては永久に眠るべきこの郷土の繁栄のため、一挙には出来ずとも、ステップ・バイ・ステップと漸進を信念として、奉仕したいと思います。

幾多の困難のあることも覚悟の前です。唯町の為皆様の為との一念で働きたいのです。切に皆様の御指導と御協力をお願いします。

町民の皆様の御健昌を祈念して年の始めの御挨拶といたします。

新年及び退任の御挨拶

前町長　緒方明男

新年御芽出度う御座います。

二十九年十二月以降満四ケ年間本町町長として在任中は町内各位の絶大なる御声援御協力を忝う致し誠に感謝に堪えません紙上謹而深く厚く御礼申し上げます

殊に私が感銘を深く致しますことは、

一、文教関係に於いては錦江、永原、龍門三小学校の鉄骨化施設加中、永原中、龍中等の特別教室の新設等、国県を挙げての深き御同情と御理解の下に本町教育委員会と共に所期の願望を達成させて頂いた事であります。

更に加治木工高の土木科設置については、全く行詰りの状態でありましたにかゝわらず郡内町村、国分、大口両市菱刈町の絶大なる御協力の賜で今日立派な土木科施設が出来上つた事であります。

一、裁判所の新設に至しましても、田中最裁高裁長官の特別のおはからいと、加治木裁判所管内全市町村長の非常な御協力により新築をみることが出来ました事も大いなる収穫でありました。

一、網掛川防災護岸、崎森、日木山、別府三川共夫々着工出来、殊に、別府川護岸の復旧工事は加治木警察署長の深く喜ばれる所で私としても以つて冥す可きと存じおります

蒲田、駅前両舗装工事、商工会の市街地美化運動の一環としての蒲田通りの鈴鬮燈の施設は、目下工事中の加治木劇場の出現と共に加治木銀座の名をほしいまゝにせんとしております。加治木港の着工も特筆すべき事だと存じます。町営住宅も四ケ年一二〇戸計画をはるかに上廻り且つ全県下市町村がしのぎを削つて誘致にやつきになつた県営住宅誘致成功は本町の住宅行政上画期的成果を挙げたと自負しております。街路の植樹は人心を和らげ温めこの市街地美に一層の花を添えております。

農道、町道も農業委員会町議会の御協力によりまして画期的な進歩をみせ殊に、道風道路に新らしく起債を以つて道路を一挙にして改修した事、辺川区民の血のにじむ如き熱意と御協力を得て二つの鉄骨橋の完成と道路の新設補修も八分通り完成省営バスの運行される日は時の問題となつております。菖蒲谷バスの開通、小山田南国バス開通などよくこれこそ住民の、方々が御協力と御努力を惜しまれなかつたと衷心より謝意を表しております。

弓削地区は営林署長及全署員の並々ならぬ御協力の賜で電灯がつき、水道が畑の中迄施設され営林署の苗圃は営林署全管内をまかなう一〇〇万本の尤も理想的な経営のなされる一大文化農村が実現されました。

長谷部落に水道施設がなされ、西別府永原、隈原部落は目下施設中、ひなば東は電灯施設がなされ本町内に無点灯部落はひなば西、及び徳丸部落を残すのみとなりました。

一、農村公衆電話は桑波多、木原両局長及び全局員の温い御同情と深き御理解の賜で中野、辺川、

(二面四、五段へ続く)

午前八時にサイレン

出初式は一月九日

恒例の消防出初式は、一月九日午前十時から加治木中学校々庭において寺園知事臨席のもとに盛大に挙行されることになつた。当日は挙式前全団員の市中行進を行い消防団の志気昂揚を発揮し、年間無火災の啓発を併せて行うことになつている。

団員集合合図のサイレンは午前八時に吹鳴されるので火災と誤解のないよう。

御存じですか

加治木町では町内在住者に小額資金を融通して、町民の生活安定と福祉更生を図るため公益質舗を経営いたしておりますが、まだ町内住民の皆様にこの事が徹底して居らないように考えますので、一応公益質舗の利用について、簡単に御紹介申し上げます。

一、公益質舗位置
本町（旧西町下）八七

二、利用資格
町内在住者である世帯者印鑑及米穀通帳又は身元を証明する証明書

三、質物の種類
衣類、家具、農具、其の他債券等の動産で倉庫に保管出来る物品

四、貸付金額
一口壱千円、一世帯五千円を限度とする。

五、流質期間
四ケ月、利子は百円に付月三円

六、取扱時間
普通午前八時三〇分より午后五時まで。
（役場と同じ）
但し、常住しております間外で事情によりましては時間外でもあつても取り扱いたしますので、御気軽にどうぞ御利用下さい。

（公益質舗）

新年号

（全戸一枚配付）

加治木町の人口

—33年(12月1日現在)—

◎人口　20,530人
（この数字は常住人口調査によるものであります）
男　9,880人
女　10,650人
◎世帯数　4,804戸
◎11月中の出生死亡

	出生	死亡	自然増
男	15	6	9
女	15	4	11
計	30	10	20

年頭の辞

町議会議長　永吉武治

昭和三十四年の新年を迎えるに当り一言御挨拶を申し述べる機会を得ましたことは誠に御同慶に堪えません。ふり返つて見まするに昨年は、新年早々から衆議院の解散風が吹いて選挙気分をあほり、五月の選挙に追立てられ、第二次岸内閣の成立と共に外交に内政に多岐多難を極め国政の前途尚憂慮せられる状態で越年いたしました。

皇室におかれては、皇太子殿下が正田美智子様との婚約が成立本春御成婚の由承り、国民として誠に慶賀に堪えません。

本県としては、四月天皇皇后両陛下の地方巡幸があり、県民の均しく感激に堪えない次第でありました。

一方景気は依然として不況から脱することが出来ず県下の農村では凍霜害による麦菜種子作の二箇年続きの不作に相次ぐ旱魃の被害は深刻になやませられたのでありますが、七八月の高温多照晴天続きの恵まれた天候に加えて、気づかわれた台風の襲来もなく誠に理想的な気象状態は、旱魃に不作なしの古諺が実現古来未曾有の豊作にようやく明かるい希望が出て来た様でありました。

一般町行政に就いては、執行当局の倦まざる努力によつてまづもつて順調な運営がなされたと思料いたしますが、なかでも裁判所の新築落成、網掛川護岸工事の継続、加治木港の工事着工、日木山弓削の営林署固定苗圃の設置、国道及び蒲生田の補装改修、錦江、永原小学校の鉄筋校舎の改築消防商工会館の新築、辺川橋の鉄筋化、木田及び日木山上場地区の土地改良事業児童公園の設置、其の他多くの施設改築をなし町民の福祉に寄与いたしたことゝ存ずる次第であります。之等の事業完遂には諸方町長以下職員の努力に対し深く感謝の意を表します。

なお、本年度に残された問題としては、電信電話公舎の改築移転、高井田に試掘中の温泉掘さく現在三三〇米で四一、五度加治木港の完成等其の他多くの問題が山積いたして居るのでありますが、之等の事業進捗には昨年末行われた町長選挙において、町長に就任せられた曽木町長に期待するもの大なるものありと存ずる次第でありますが、私共議会と致しましても渾然一体となり、町民の意志を充分尊重して、議案審議に公平無私是々非々主義を以つて之に当り、本町発展に最善の努力を惜しまない覚悟でありますので新町長におかれても新な決意の許に町行財政の運営に臨まれんことを町民と共に希望申上げ本町発展に寄与いたしたいと存します。

各位の福祉と健康を祈念して新年の挨拶といたします。

（一面より続く）

市来原、木田、葛蒲谷、嶽と六ケ所に次々に敷設され、今後小山田地区布越、崎森、上小山田、木田地区高井田、新中、みろく、須崎及び療養所前に申請及びよりより陳情中であり市街地電話は小陣池ノ上商店（三十四年三月迄敷設）上新道常盤商店、日木山犬童工務店にも年次計画で敷設される事になつており、現木原局長及び宮崎課長ならびに関係各局員の方々に深心の謝意を表している次第であります。

一、砂防工事も本県下で尤も大きいといはれる原ノ丸を始め猪目田など計四ケ所が地元民の熱心な希望で完工若しくは着工中で県御当局及び加治木農林事務所各位に深く御礼申し上げる可きだと存じます。

一、横山、大山前現商工会長の熱心な商工業繁盛の基本として商工業者への融資に腐心されておりますが、私も全面的に御協力国民金融公庫所長の御陰で大体円滑適正な融資が出来ると共に小口融資制度の実現による貸出制度及び加治木信用金庫に国金代理店の開設をみた事は今後の本町商工業者への融資制度が完備された事を多とするものであります。更らに鹿銀支店、旭銀行、加信金庫等の金融機関に対する商工業者への御努力を衷心より感謝すべきだと存します。

一、養老院の新設をみずして去る事は尤も痛恨事でありますが、来三十四年度は実現の見通しをつけましたのでせめても有難い事であつたと喜んでおります。

一、上水道も一応完成、温泉試掘も四一、五度を越し明るい見透しであり問題は湯量の点にあると存じます。

一、国道の舗装も岩原地区が近く着工される事により概ね九十九％完工、あと一息で全く近代化された加治木市街地が出来上ると前途に大いなる希望をもつております。

以上思いのまゝに申し述べましたが、私が就任当時加工高土木科、加治木土木、耕地雨事務所新庁舎及び加治木裁判所の新庁舎問題は全く関係市町村長の協力が得られず四面楚歌行詰りであり、これ程加治木町は悪くみられているかと思ふ程でしだが関係市町村長が私の苦境をよく考えて下さつて御協力への体制をとつて下さつた事、及び錦江小の第一次鉄骨建設が中途で投出され収拾つかぬまの状態であつたにかゝわらず大和建設の犠牲的精神により完成をみるに至らうとしている事など全く感激と深い謝意の中に町政に当らして頂いた事を一生の思い出として町職を去り、更らに立場を代えて本町発展の為格段の努力をせんとするものであります。今後共よろしくお願します。

終りに臨み町議会、教育委員会、公民図書館、農業委員会各位国県及び之等の本町各級出先機関の各位に厚く深く謝意を表し、町民各位の御健康と御幸福を祈念申し上げつゝ私の新年及び退任の御挨拶に代えさせて頂きます。

最後に婦人会、青年団、社協、児童民生委員各位、執行部岩沢助役、故橋本、現岩元収入役及び全職員につきせぬ感謝の意を表します

いのしゝの年

教育長　市来朴

※猪突猛進！

※猪　武者！

思うだに心が奮い立つて今年こそやるぞ！と自ら身体が震えてくる。…これこそ日本男子の血の底に流れている勇猛心の湧き上りである。

かつて小学校の国語で皆つた仁田四郎が、猪の背に逆さにまたがつて、脇差を振り挙げている勇ましい姿が目に浮んでくる。

※人間はものごとを、慎重に考え、前後の関連に思を馳せ、現在の影響を考慮して実行することは、極めて肝要で尊重すべきことであるが、余り熟慮して、断行が鈍つたり、やるべき時にちゆうちよしゆんじゆんして、好機を逸したり、過去にあくせくして、現在を台無しにし、現在にこだわつて、将来の計画が立てられなかつたり、唯見得だけ張つて実が伴わず、或は人の き尾にだけ附して、自己創造の域に達せず、人をリードした時の満悦を知らない者は、よろしく猪の爪の垢でも煎じて飲ませたい。

時には、盲滅法にやる時もあつてよい。

ガムシャラに喰い入つて先方をタジタジさせてもよい。

猪武者が、向う見ずの荒苦行を平気でやつて、何も恐るゝことなく、最後の扉を開く荒法師が、時にはおつてよい。また時には、そんな場合があつてよい。

※消極々々と、門前に鳴るテンチンの鐘よりも、時にはハネて跳ぶ太鼓踊りの鐘が、人心を満悦の境に到らせる。

※健全々々と重箱の隅をクジつてばかりいるよりは、時には思い切つて、重点的に施策し、財布の底をたゝいて見せる気概があつてもよい。

消極なら、積極的消極が欲しい。百万円の仕事をするには、二百万円を投ずる気魄があり、消極は種極から生ずるものなることを充分弁ぜねばならぬ。

鹿児島の貧乏は、往時の消極が…いつている。

然し！　待つた！

唯単なる猪突猛進であつてはならぬ。猪武者でもよくない。消極の裏付けのない積極はあり得ない。お尻の結ばない、締りの悪いケツは鼻持ちならぬ。

△軽挙もう動は、厳に慎しまねばならぬ。

△結果のみを夢見て、現実をおろそかにしてはならぬ。

△地元に気を着けずに、いたずらに天だけ見るな。

△少数の意見に動かされて大衆を忘れてはならぬ。

△大衆の群集心理に押されて、少数の貴重な意見を捨てゝはならぬ。

△気ばかりあせつて、足が来ないのは大人の競走である。

今年はイノシシの年。

加治木町一般行政！

加治木町教育行政！

この二大主柱ががつちり建ち、寸分の隙間がなく、相倚り、相提携し、明朗で、親密に打ち明け合い、しかもその本来の使命に向つて猛進し、仁田四郎の向きを変えてやりたいと、年頭に当り、祈念する次第であ。

火の用心

一年を通じ火災の一番多い季節になりました各家庭には火の元には充分注意して下さい。